

けんわ看護学院だより

No.13

2011年11月吉日

発行：健和看護学院



防災訓練（1年生）

学院長あいさつ



健和看護学院
学院長 三輪 俊和

東日本大震災・福島原発事故以来、学生たちは、「被災されたみなさんの心のケアをしたい」「患者さんに寄り添おう看護師に早くなりたい」という思いを日々語ります。そして看護の力をつけるため、以前より懸命に勉強し、実習に取り組んでいる姿に感動します。

人の命は平等です。「いつでもどこでも誰にでも無差別平等の医療を提供する」ことが民主医療機関である健和会の理念です。東北にも、6次にわたる医療チームを派遣し、今も法人全体で支援活動をしています。このような民主医療をささえる人間性豊かな看護師を育てることが、健和看護学院の崇高な社会的使命です。

看護に不可欠な豊かな人間性は、しめつけや抑圧ではなく、自主・自治の中でこそ養われます。私たちは、学生が「学び」の主人公となり、互いに励まし合い、自主と自治と共同の力が育っていく学院をめざしています。

充実の秋。今日も、1人ひとりの学生が学び合い、それぞれの個性で何かが変わり、一日分、大きくなっていきます。学生たちの不断の努力が、明日の看護を切り拓いていきます。教育とは、ともに希望を語ることに。私たち教職員も、学生と心をつなぐ一つにして、明日の看護を担う教育に元氣一杯取り組みます。保護者の皆様のご理解、ご協力をこころよりお願い申し上げます。

臨床の看護実践を学ぶ 統合演習の新設

統合演習担当 久良木 恵津子

卒業後のリアリティシヨックの緩和と円滑な臨床現場への適応を目指し、本年度より統合分野と云うより臨床の看護実践に近い知識・技術を学習する専門分野が新設されました。その分野の一教科である統合演習を通して、看護技術・判断能力・問題解決能力・フィジカルアセスメント能力の育成を目指しています。

実習室で設定した臨床の模擬実践現場や患者の状況をアセスメント・看護問題解決に向けた看護計画立案・計画に沿った看護実践・看護実践を通じた評価考察等、一連の看護実践過程を1週間の期間で展開します。模擬実践現場や患者の状況は、予め設定した8事例から複数事例を選択し、小グループで協同学習やチームワークを活かしながらの看護実践に臨みます。臨地実習で実際に経験した事の無い、点



模擬実践現場でのロールプレイ

滴静脈注射や輸血・低圧持続吸引・気管内挿管の介助及びAEDによる除細動を始めたところ救急救命処置等、卒業後遭遇し、基本的に且つ緊急に求められる様な看護・処置を中心にモデルや学生間で創意工夫しながら実践

的に学んでいます。患者状況や病態のアセスメントは、専門的・複合的でおのおののチーム共、難航している様ですが、「初めての経験・処置の学習・実践が出来、今後の学習・実習に活かしていきたい」「グループで協力し合い、学習の共有・深め合いが出来、有意義な演習であった」等、なかなか主体的な学習が出来ている様です。そして、看護学生として最後の臨地実習である「統合実習」での学びに繋げて欲しいと願っています。

Topics

3年生(35期生)

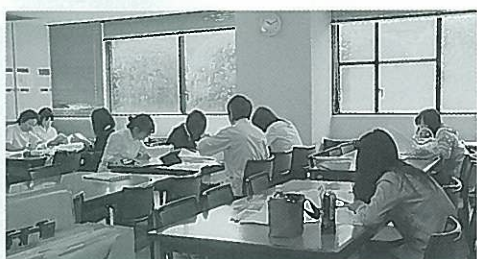
領域別実習を實踐中

頼もしさが身につけてきました



学年主任 吉田 理恵

空き時間を利用して
図書室で学習



3年生(35期生)は、領域別実習を實踐中です。病棟実習だけでなく、訪問看護や保育所実習などさまざまな場所で看護に必要な経験を重ねています。実習場所が変わるとか緊張の連続ですが、なんとかなる、やるしかない、といった長期実習を乗り越えていく頼もしさも身につけてきました。最後の実習は夜間実習を含んだ統合実習もありま

す。少しずつ臨床看護師に近づくためのものですが、課題も増えます。秋から冬にかけては疲れもたまりやすく、体調も崩しやすくなります。感染対策など体調管理には充分気を配りながら、残りの実習を乗り越えていくと願っています。実習終了後は、卒論として看護観を作成し、その後は、2月の国家試験に向けた学習支援を考えています。



統合演習のための看護計画立案

2月29日(水)は看護観の発表会、3月3日(土)には卒業式を予定しています。どちらも、学生ひとり一人の学びと成長を感じ、感慨深いものとなります。全員の卒業と国家試験合格に向けて、保護者の方と協力しながら学生ひとり一人を支援していきたいと考えています。

2年生(36期生)

3週間実習や人権学習を経験 看護師への思いを強く

2年学年主任 三ヶ田 まゆみ

36期生も早いもので看護学校3年間の折り返し地点を過ぎました。2年次は新しいクラスとなり不安を持ちながらのスタートでしたが、クラスマッチや看護学校体育競技大会でリーダーシップを発揮し、クラスのまとまりもできてきました。5月には、3週間実習を経験しました。初めて看護計画を立案す

るといふ大きな課題を抱え、日々の学習の重要性を
 実感する実習ではありましたが、臨床看護師の指導
 を受けながら、様々な援助を行う中で、看護師へ
 の思いを強くすることができたようです。9月には、
 菊池恵楓園の見学に行き、入所者との関わりの中
 で人権を考える貴重な経験となりました。今は、専門
 性の高い講義が続き、今後、終講試験も増えていき
 心身ともに厳しい時期になります。健康管理をしつ
 かり行い、乗り越えてほ
 しいと願っています。



ハンセン病の歴史を
 通じて人権を考える
 (恵楓園にて)

1年生(37期生)

入学して半年

看護学生らしくなってきました



1年学年主任 内海 志織

入学して半年が過ぎ、90分の授業にも慣れたよう
 です。また、放課後の実技練習も熱心に取り組み姿
 が多く見られ、ずいぶん看護学生らしくなってい

第34回 学院祭



くろさき苑にて

ました。10月初旬に行われ
 た実技試験では、日頃の取
 り組みが結果となって現れ
 例年になく高合格率でした。
 10月8日と15日にクラス毎
 に老年看護学の授業の一環
 で、大牟田市にある介護老
 人保健施設(くろさき苑)
 に行ってきました。高齢者
 とのふれあいを通して、看
 護に対する思いも高まった
 ようです。先日の学院祭



利用者さんとふれあう貴重な経験でした

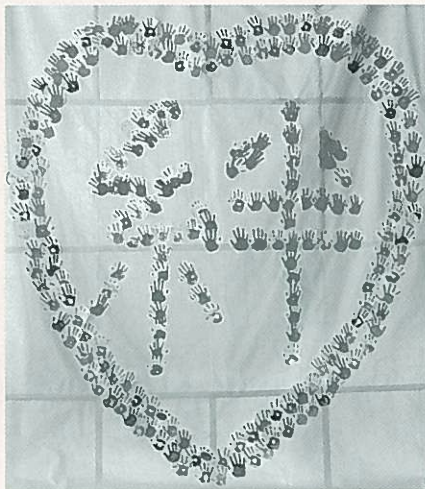
では、自治と人権
 の時間に参加した
 母親大会での学び
 を、皆に分かりや
 すく見事に発表す
 ることができました
 た。現在は、技術
 チェックや毎週の
 終講試験に追われ
 ながらも、戴帽式
 に向けて期待が高まっているところです。

絆、想いの力と支える強さ

担当教員 坂本 真弓

10月22日、第34回学院祭が開催されました。
 今年度は、東日本大震災と福島原発事故の発生
 から、原発について考え、節電や節水など自分

達に出来る事に取り組み、震災の早期の復興へ
 の願いを胸に、大手町病院の健康まつりと共に
 協力してみんなが楽しめた学院祭になりました。



みんなの手形で作った「絆」



オープンキャンパスで血圧測定



出店用のフライドポテトを調理中

2011年度

下半年行事予定

11月
5日(土) 推薦・社会人入学試験
17日(木) 特別講演(2年生)

19日(土) 戴帽式
28日(月) 統合実習(3年生)
12月9日(金)

12月
3日(土) 第1回一般入試
12日(月) 基礎看護学実習Ⅰ(1年生)

21日(水) 冬期休暇開始
26日(月)

1月
6日(金) 第2回一般入試
7日(土) 冬期休暇終了

10日(火) 老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ
3月9日(金) 成人看護学実習Ⅰ(2年生)

2月
19日(日) 特別講演(3年生)
25日(土) 看護師国家試験(3年生)

29日(水) 第3回一般入試
看護観覧表会

3月
3日(土) 卒業式
19日(月) 春期休暇開始

24日(土) 合同実習指導者会議③(A.M)



自治会役員



2年生6名、1年生9名です。主な活動内容は、新入生歓迎会や学院祭の企画などです。また、校内に投書箱を設置し、学生の意見が聞けるようにしています。月に一度の定例会議で、集まった意見内容について話し合い、先生方と連携してよりよい学校生活が送れるよう、日々取り組んでいます。

よろしくお願いします
新任のごあいさつ

事務長
小山 政文



7月1日に着任しました事務長の小山です。看護学院の業務は全く初めてで、まだ戸惑ってばかりの日々です。これから少しずつ学生のみなさんの名前や顔も覚えながら、学生のみなさんが将来看護師になったときに患者さんのなみや苦しみを共感できるような感性あふれる看護師となれるよう教員と協力しながら援助して行きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



編集後記

今年の学院祭は「絆」がテーマでした。東日本震災の被災者へ向けて、少しでも心の支えや生活の復興の役に立ちたいという学生の熱い想いが、「絆」想いの力と支える強さ」にこめられています。まだまだ多くの困難を抱えた復興の道のりですが、一人ひとりが絆を結び合うことが、復興への一歩になるという希望を、確かめ合つことができた学院祭でした。

1年の後半に入り、行事や実習に忙しい時期を迎えます。一方で目を見張るほどの成長を見せてくれる時期でもあります。体調管理に気をつけて、実り多い秋となることを願っています。

編集委員一同

